

資料3 リスクアセスメントワークシート（積算法）

項番	危険源の種類	危険状態	作業項目	作業場所	危険源	危険の対象	リスクの見積り					評価結果	採用した安全方策	リスク再見積り					リスク再評価	備考
							LO発生予測	FE危険源に曝される頻度	DPH損害の程度	NP危険となる対象人員	危険指数			LO発生予測	FE危険源に曝される頻度	DPH損害の程度	NP危険となる対象人員	危険指数		
危険源、危険状態及び危険事象																				
1	機械的危険源																			
1.1	押しつぶしの危険源	シリンダ駆動の可動部に頭、手が挟まれる	ワーク脱着	A P C 内	シリンダ駆動の可動部	操	2	4	2	1	16	重大な		1	2.5	2	1	5	条件付き許容	操作教育
			加工調整			操	2	1.5	2	1	6	少ない	自動手動扉を設置	0.033	1.5	2	1	0.1	許容	
			保全調整			サ	5	1	2	1	10	重大な	側面にカバーを設置	0.033	1	2	1	0.07	許容	
			異常処理			操サ	8	0.5	2	1	8	少ない	保全時はロックアウトして作業	0.033	0.5	2	1	0.03	許容	

凡例	操 - 機械操作者
	補 - 補助作業員
	サ - 保守サービス員
	3 - 機械に近接する第三者

## 資料4 リスク確認実施例

- リスクアセスメントワークシート（リスクグラフ法） - （制御システムの安全カテゴリ決定に利用）

項番	危険源の種類	危険状態	作業項目	作業場所	危険源	危険の対象	リスクの見積り				評価結果	採用した安全方策	リスクの再見積り				リスクの再評価	備考
							危害のひどさ	危険源に曝される頻度	危害の回避の可能性	リスクレベル			危害のひどさ	危険源に曝される頻度	危害の回避の可能性	リスクレベル		
危険源、危険状態及び危険事象																		
1	機械的危険源																	
1.1	挟まれ・巻き込まれ	機械の可動部に頭、手が挟まれる	ワーク脱着	APC内	機械の可動部	操	S2	F2	P2		許容できない	自動手動扉を設置	S2	F1	P1		条件付許容	操作者教育
			加工調製			操	S2	F1	P2		許容できない	自動手動扉を設置	S2	F1	P1		条件付許容	操作者教育
			保全調製			サ	S2	F1	P2		許容できない	側面にカバーを設置	S2	なし			許容	
			異常処理			操サ	S2	F1	P2		許容できない	保全時はロックアウトして作業	S2	なし			許容	

凡例	操 - 機械操作者
	補 - 補助作業員
	サ - 保守サービス員
	3 - 機械に近接する第三者